



Mhorol  
シヨナエからこんにちは

# NPO法人しまなみアートファーム ニュースレター www.npo-safm.org

SAFM NEWS Vol.6 2024年7月

## ごあいさつ

初夏の訪れを感じる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。夏の日差しが日に日に強くなっています。私が大三島に移住して3年半が経ちましたが、日本家屋に住むことで、季節の移り変わりを肌で感じるようになりました。

「しまなみアートファーム」を2021年8月に創設してから、もうすぐ3年が経とうとしています。この間、団体のビジョンを育てながら、資源（能力・人材・資金）を有効活用するために試行錯誤を繰り返してきました。団体創設当時から変わらず支援してくださる皆さま、そして新たに支援してくださる方々のおかげで、私たちは皆様の励ましを原動力として活動を継続しています。また、その間に志を同じくする協力者や団体との関係も築くことができ、活動も広がりを見せています。

大三島で団体を立ち上げてからというもの、島の環境保全にも貢献したいという思いが常々ありました。今年度

写真: Mhorol = シヨナ人の言葉でHello/  
シヨナ人の国立大学音楽科の学生のみなさんです。

## 2024年 これからの活動計画 (2025年3月まで)

- 1 11月ジンバブエ視察・研修**  
毎日のようにジンバブエとやりとりはありますが、1年ぶりにプロジェクトメンバーと再会します！修了式も予定。
- 2 クラウドファンディング**  
2024年11月中旬～2025年1月末を予定  
3回目のクラウドファンディングに挑戦いたします。今回も魅力的な特産品を取り揃えて、支援者の皆様方に喜んでいただき、また、ジンバブエの活動へのご理解も促進していきたいと思っております。



は、『大三島イノシシ生態調査チーム』と協働で『しまなみアートファーム“世界を見てみよう”』シリーズの第三弾として、大三島で大きな問題となっている『イノシシの被害』にも活動の幅を広げて参りたいと思っています。

また、国際協力事業としてジンバブエのプロジェクトが長期的で持続可能なものとなるよう現地の協力者対話を続けながら、より効果的な支援が現地に届くような活動を模索し続けています。国内では楽器募集活動やジンバブエでの音楽プロジェクトの報告を通じて、異文化理解を促進し、国際協力活動への理解を深めていきたいと思っています。

今年度も皆さまの変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

しまなみアートファーム 代表 吉田佳代



- 3 異文化理解促進シリーズ**  
しまなみアートファーム“世界を見てみようパート3”『大三島とアフリカの獣害編』  
2025年1月25日(土)を予定  
大三島に生息するイノシシ生態調査報告とアフリカのゾウの獣害から動物と人間の共生を考える会  
大三島では年々イノシシによる農作物の被害が深刻化しています。私たち「しまなみアートファーム」も、大三島の環境保全について問題意識を持っています。  
現在、大三島では動物生態調査チームがイノシシの生態調査を進めています。このチームの主なメンバーは、大三島出身の京都大学の木村大治名誉教授、福山女学園大学の松浦直毅准教授、同大学の横山拓真特別研究員です。  
「しまなみアートファーム“世界を見てみよう”シリーズ」の第三弾として、調査の成果を住民の皆さまと共有し、今後の共生のあり方と一緒に考えるために、調査報告会&交流会を企画しました。  
また、しまなみアートファームらしく、異文化の紹介として、アフリカの生態調査も行っている調査チームにアフリカのゾウによる獣害についても紹介していただき、世界の獣害の事例にも話を広げていきます。皆さまのご参加をお待ちしております。



一緒に活動してみませんか？

皆さまのサポート引き続きお待ちしております。  
どうぞよろしくお願いいたします！

活動に興味のある方は music@npo-safm.org

080-9985-5426 吉田 までご連絡お願いいたします。



www.npo-safm.org

NPO法人しまなみアートファームニュースレター

SAFM NEWS Vol.6 2024年6月



## 2024年前半 ふりかえり

### 1 しまなみアートファーム “世界を見てみよう”インド編

2024年1月20日(土)

今回はインドムード！あいにくのお天気にもかかわらず、たくさんの地元の方にもお越しいただきました。

### 2 クラウドファンディング

期間：2023年11月25日(土)～2024年1月14日(日)

ご支援：65件 金額：51,5万円達成



皆さまの温かいご支援のおかげで、65件のご寄付をいただき、目標額の¥515,000を達成することができました。本当にありがとうございます。私たち「しまなみアートファーム」は、日本で不要になった楽器を再利用し、音楽が大好きでも楽器に触る機会のないジンバブエの子供たちに、公立学校の音楽の授業で楽器を演奏する機会を提供できるよう、音楽教師の育成のための研修を行っております。この活動を継続するために今年度は2回目のクラウドファンディングを実施しました。大三島の柑橘や特産品を今回もリターンとして提供したところ、多くの方々大変喜んでいただきました。特に、昨年からのリピーターの皆さまのご支援が多く、改めて皆さまのご支援のありがたみを感じております。これからも皆さまのご支援を励みに、活動を続けてまいります。今後ともよろしくお祈りいたします。

ドキュメンタリー映画「アングリーバードとバナナ合唱団」 活動報告も熱心に関わっていただきました



「カードから見る現代インド社会」も映画とリンクした問題をトピックにしているインドの社会背景も知りました

### 3 Pamodzi Issiyo Music Project 2024 『ジンバブエの公立小学校の音楽の授業に楽器を』プロジェクト 視察・研修

より支援を必要とする層に支援の手が届くように第二期生として7名の研修生を選出。

- 2024年1月  
昨年11月に視察に行った女子高音科とスラムで女性の自立と子供の支援をサポートするファミリーサポートセンターの音楽講師2名の研修開始
- 2024年5月  
音楽専門学校で音楽教師を目指す女子5名の研修開始



女子高音科視察(2023年11月) スラムのファミリーサポートセンター視察時(2023年11月)



女子高音科教師の研修。鍵盤楽器を習うのは初めて。でもさすが音楽教師 吸収が早いそうです/現地講師のコンコもプログラムの運営に欠かせない重要人物です



第二期生とプロジェクトパートナーのEdithと研修生。音楽家、音楽教師を目指す女子たちにとってEdithは憧れの女性音楽家(2024年5月)

スラムのファミリーサポートセンター音楽講師研修。パーカッションとして活躍の彼女も鍵盤楽器の経験はなくても吸収が早い！

### 4 協力隊まつり

2024年4月20日(土) 21日(日)



4月20日から21日の二日間、東京・市ヶ谷のJICA地球ひろばで行われた「協力隊まつり」に出展し、私たちの活動を紹介しました。昨年も出展しましたが、弊団体代表は初参加でした。多くの中高生や大学生が参加し、若い世代にも等身大の国際協力活動を共有でき、有意義な時間を過ごすことができました。  
活動紹介から発展して、進路相談に発展する場面もあり、音楽の多様性を生かして社会に貢献したいという高校生のような進路があるのか尋ねてきたり、国際科の学生たちが鍵盤ハーモニカの寄付活動を手伝いたいと申し出てくれたりしました。特に印象的だったのは、1日目に話をしたばかりの小学校を卒業したばかりの男子の子が、2日目に鍵盤ハーモニカと寄付金を持参してくれたことです。私たちは、ジンバブエでの活動のために、毎年50～60台の鍵盤ハーモニカを必要としています。今回のイベントを通じて、多くの方々私たちの活動を理解していただき、興味を持っていただける若い層とたくさんお話ができ大変有意義な二日間となりました。ブースサポートに来て下さった支援者の方々もありがとうございました。

引き続き 楽器 募集中です。 <https://www.npo-safm.org/楽器寄付募集>

(詳しくはHPを参照ください)

